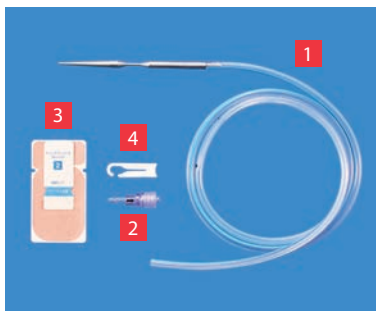


OPE室での ご使用方法

ドレナージ カテーテル (鈍針) の留置／固定／吸引／交換

※天然ゴムを使用していません。

Argyle™ Fukuroi Multi-Channel™ Drainage Set



マルチチャンネル™
ドレナージ カテーテルS

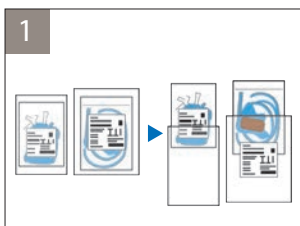
- 1 ドレナージ カテーテル (鈍針)
- 2 接続コネクタ
- 3 補助固定具
- 4 クランプ



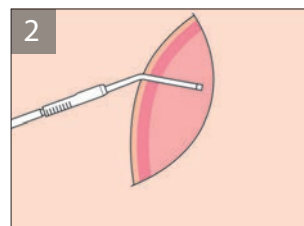
マルチチャンネル™
ドレナージ ポンプ

- 1 バルブ型
- 2 フラップ型
- 3 ソフトバッグ型
- 4 プレジジョン
スラントタイプ

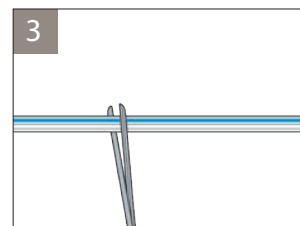
1. 留置の準備



内包装を開封して、マルチチャンネルドレナージ カテーテルS、マルチチャンネル ドレナージ ポンプを取り出します(それぞれ2重シール包装になっています)。

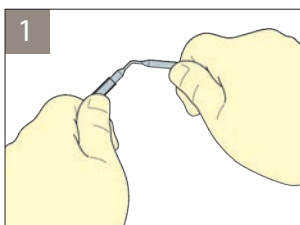


ドレナージ カテーテルを留置する前にあらかじめ生理食塩液などで創内を洗浄し、凝血塊・組織片を排出します。

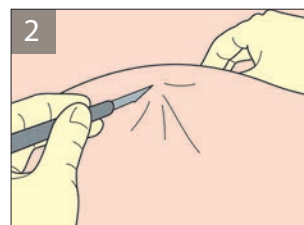


体内に留置する長さを考慮し、必要に応じて適当な長さにドレナージ カテーテル(留置側)をカットします。

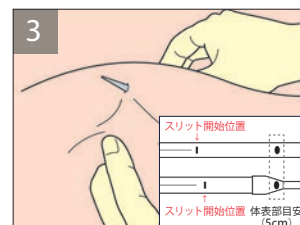
2. 留置の方法と注意点



鈍針を適当な角度に調整します。

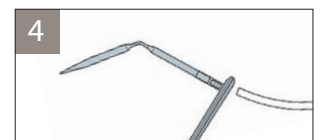


鈍針で盛り上がった皮膚部分を目安にメスでドレナージ カテーテル刺入部を作成します。



作成したドレナージ カテーテル刺入部から鈍針先端を押し出してください。

※ドレナージ カテーテルには、スリット開始位置から約5cmの位置にマーキングが入っていますので、固定時の目安にしてください。



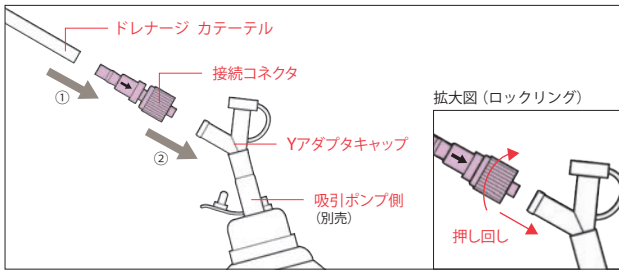
ドレナージ カテーテルを適当な長さまで体外に引き出します。ドレナージ カテーテルを適当な長さにカットします。

※ドレナージ カテーテルを引き出し過ぎないように注意してください。

※屈曲させずに必要とする長さだけを留置し、ドレナージ カテーテルが臓器や血管を圧迫する位置には留置しないでください。

3. 吸引の準備 (マルチチャンネル ドレナージ ポンプとの接続)

ポンプ+ドレナージ カテーテル1本 で吸引する場合

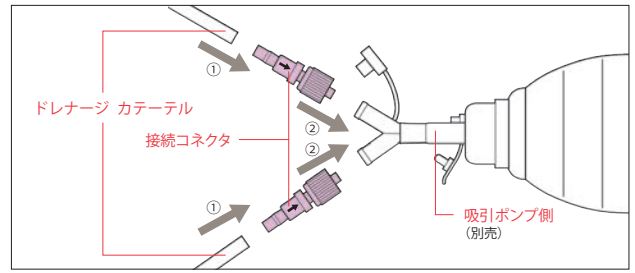


- ① ドレナージ カテーテル+接続コネクタ
- ② 接続コネクタ+Yアダプタ

Yアダプタの片方のキャップを嵌め、付属の接続コネクタにドレナージ カテーテルを挿入し、接続コネクタをもう片方のポンプ側 Yアダプタに印字されている矢印の方向へ取り付け、ロックリングを締めます。

- ※ 接続コネクタに突き当たるまで、ドレナージ カテーテルを差し込んでください。
- ※ 接続コネクタのロックリングをYアダプタに締め付けてください。
- ※ Yアダプタキャップをしっかりと差し込んでください。

ポンプ+ドレナージ カテーテル2本 で吸引する場合

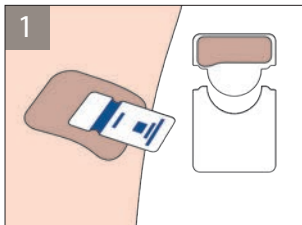


- ① ドレナージ カテーテル+接続コネクタ
- ② 接続コネクタ+Yアダプタ

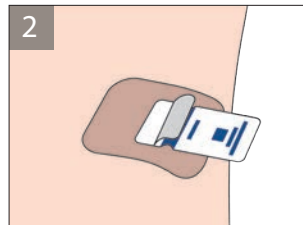
付属の接続コネクタにドレナージ カテーテルを挿入し、各接続コネクタをポンプ側 Yアダプタに印字されている矢印の方向へ取り付け、それぞれロックリングを締めます。

- ※ 接続コネクタに突き当たるまで、ドレナージ カテーテルを差し込んでください
- ※ 接続コネクタのロックリングをYアダプタに締め付けてください。

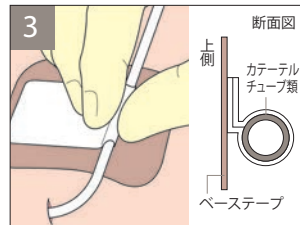
4. ドレナージ カテーテルの固定



固定面側の剥離紙をはがし体表に貼り付けます。

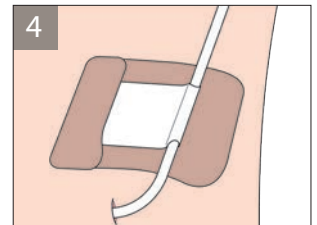


表面側の剥離紙をはがし、くびれ中央にカテーテルを置きます。



固定テープとカテーテルの間に隙間が出ないように粘着面同士をしっかりと貼り合わせ、オメガ止めします。

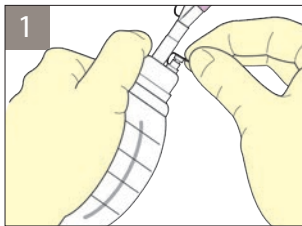
- ※ 指先を使ってなぞるように密着させます。



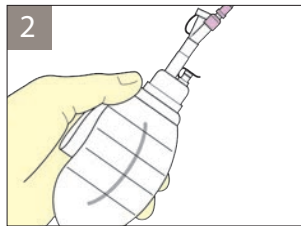
保護テープで上から保護して、固定の完了です。

5. 吸引／計量／排出

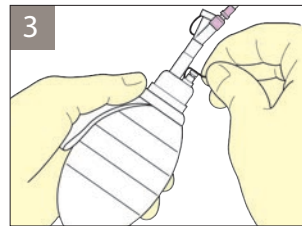
バルブ型ポンプの場合



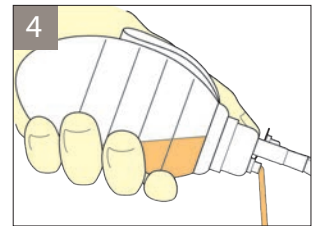
1 排出口キャップが開いた状態で、静かに握るようにバルブ型ポンプを圧縮し、ポンプ内の空気を十分に排出した状態で排出口キャップを閉じます。



2 ポンプを放すと吸引を開始します。

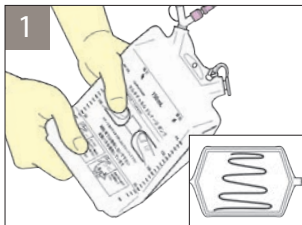


3 計量、排出する場合は、排出口を上にした状態で排出口キャップを開けます。逆流防止弁が付いているので、ドレーナージ カテーテルのクランプは不要です。



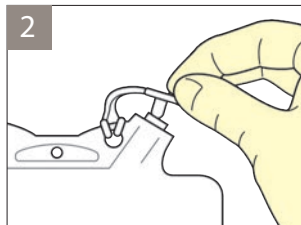
4 ポンプを垂直に持って、本体側面の容量目盛りで計量し、ポンプを傾け、排出口から排出します。

フラップ型ポンプの場合 (※ MRIに使用しないで下さい。金属バネを使用しています)

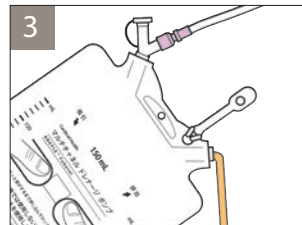


1 排出口のキャップを閉じ、ポンプ底部のフラップを音がするまで静かに手前側に折り曲げ、吸引を開始します。

※ 製品包装時には排出口のキャップは開いていますので、吸引開始前に必ずキャップは閉じてください。

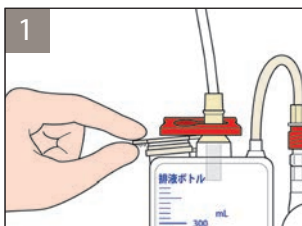


2 計量、排出する場合は、排出口を上にし、フラップ型ポンプを垂直にした状態で排出口キャップを開けます。逆流防止弁が付いているので、ドレーナージ カテーテルのクランプは不要です。



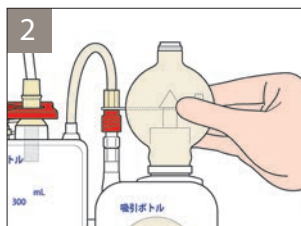
3 ポンプを垂直にした状態で、側面の容量目盛で計量し、ポンプを傾け、排出口から排出します。

プレジジョン スラントタイプの場合

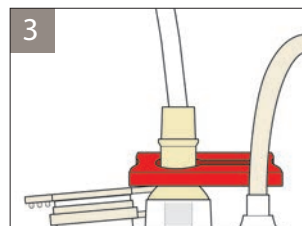


1 集液ポートをクレンメで閉鎖し、排液ボトルキャップを閉じます。

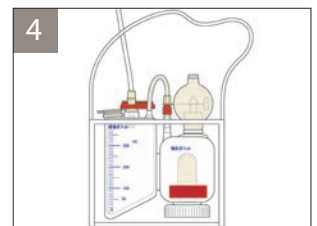
※ クレンメは集液ポートを閉鎖するためのものであり、延長チューブに移動させて使用しないで下さい。



2 吸引ボトルのゴム球を押してポンピングし、バルーンを膨張させます。



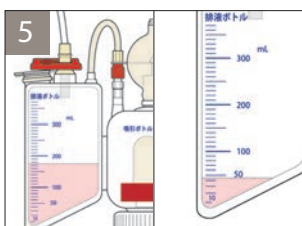
3 クレンメを開き、吸引を開始します。



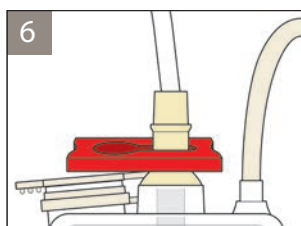
4 必要に応じポンプをポシェットにしっかりと収納します。

※ ポンプを設置する場合は、創部より低い位置に設置、もしくはポシェットに入れて吊り下げて下さい。

※ 吸引ボトル内に貯留した排液ボトルの排液が移行することを防ぐため、ポンプは立てた状態で使用して下さい。

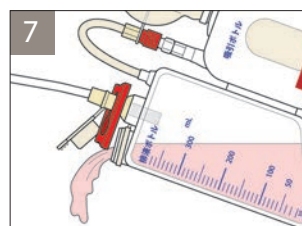


5 計量する場合は、排液ボトルの容量目盛りで計量します。貯留物が少量の場合でも、排液ボトルを立てたまま計量することが可能です。



6 排出する場合は、クレンメで集液ポートを閉じます。

※ クレンメは集液ポートを閉鎖するためのものであり、延長チューブに移動させて使用しないで下さい。



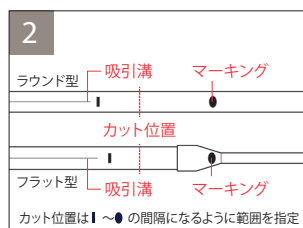
7 排液口のキャップを開け、ボトルを傾け、排液口から排出します。吸引を再開する場合は、1、2、3の項目に従って行って下さい。

6. ガイドワイヤを使用してドレナージ カテーテルを交換する場合

カテーテル外径	ガイドワイヤ外径
R3.5mm	0.45mm (0.018) 以下
R5.0mm	
R6.5mm	
R8.0mm	
F7.0mm	0.89mm (0.035) 以下
F10.0mm	

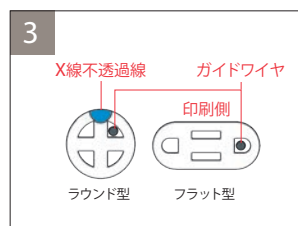
あらかじめ使用するガイドワイヤのサイズと長さを確認します。

※ ガイドワイヤは上表のサイズを使用してください。

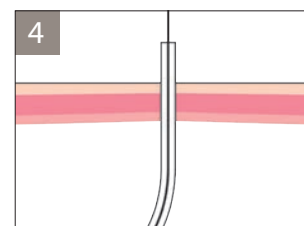


固定位置より体外にドレナージカテーテルを引き出し、ドレナージカテーテルが体内に埋没しないよう注意しながら、ドレナージカテーテルを切断します。

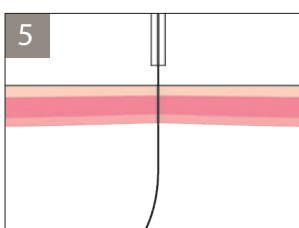
※ 切断する際にはドレナージカテーテルをしっかり把持してください。



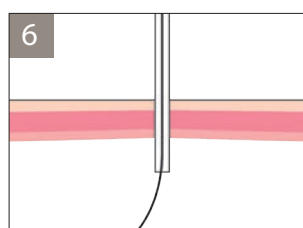
ラウンド型の場合、青色のX線不透過線の右側、フラット型は印字面を上にして右側のルーメンを定めます。



透視下にて、ガイドワイヤがドレナージカテーテルから飛び出さないように確認しながら、ガイドワイヤを挿入します。



ガイドワイヤが同時に抜けてこないように注意を払いながら、ドレナージカテーテルを慎重に抜去します。



透視下にて、適当な長さに切断した新しいドレナージカテーテルをガイドワイヤに沿わせて押し進め留置した後、ガイドワイヤをドレナージカテーテルから慎重に抜去します。X線撮影を行いX線不透過線で留置位置の確認を行います。

販売名 : マルチチャネル ドレナージ カテーテルS
 医療機器認証番号 : 227AABZX00089000
 製造販売元 : フォルテグロウメディカル株式会社

販売名 : マルチチャネル ドレナージ ポンプ
 医療機器届出番号 : 09B1X00004000147
 製造販売元 : フォルテグロウメディカル株式会社



CardinalHealth™



お問い合わせ先
 カーディナルヘルス株式会社
 Tel : 0120-917-205
cardinalhealth.jp